

ねらい

クラスみんなで共通の目的に向かって、相談したり、協力したり、心を合わせたりする満足感や達成感を味わう

発達・教師の援助
環境構成のポイント

子どもたちが大好きになった絵本「ぎろろんやまと10ぴきのかえる」を劇遊びの題材に選び、オリジナルのお話づくりの過程で、共通の目的・相談・協力・満足感・達成感が得られるようにした。

実践内容



保育者

〇〇組のお話には、魔法使いが出てくるってのはどう?

じゃあ、魔法使いは、魔法の森に住んでるってのは?

絵本にはかいてない、〇〇組だけのとびきり楽しいお話を、みんなで考えて、創っていけたら楽しいな、と思うんだけど、どんなお話が いいかな。



なんかこう、魔法使いって感じの呪文ないかなあ

カエルはどうやって崖を渡ることにする?

毎日、子どもたちから湧き出るイメージやアイデアを、ボードに絵や文字で書き足し、クラス全員がお話を共有できるよう、視覚的環境も工夫

あのさー、病気のカエルは、『しゃっきりだけ(キノコ)』を食べてもまだ元気にならないとかはどうか

じゃ、病気のカエルを、魔法使いが魔法で助ける?

『魔法の花』を咲かせるとかは?

いや、『魔法のにじの花』の方がいいんじゃない?

あ!それ、いいやん!

協同性



...シュアリンフォレーン...とか?

それいいやん みんなで言ってみよ。

シュアリンフォレーン! シュアリンフォレーン~~



時にはクラス全員で...

よし! ちよっとやってみよう

言葉による伝え合い

カエルのみんなでつながって橋になるってのは?



こうやって、足をくっつけたら、花に見えへん?

ほんまや

だったら、もっと足を広げてみない?

時にはグループごとで...

豊かな感性と表現

思考力の芽生え

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

自立心

お話づくりを通して、登場人物の心情、ストーリーを掘り下げていくことで、“相手の立場に立って考える心” “相手を想う心” “仲間”について考えてみたい...

保育者

コウモリはなんで、カエルが洞穴の『しゃっきりだけ』を取った時、怒ったんだろう?

①『しゃっきりだけ』はコウモリの好物で、それを取られたからとちゃう?

②『しゃっきりだけ』は洞穴で光ってるやろ?だから、大事な宝やったんとちゃう?

③だからそれをコウモリは守ってて怒ったとか...



⑦じゃ、最後はみんな仲間やん

道徳性・規範意識の芽生え

この言葉! 劇遊びで使える!!

⑥じゃあ、カエルをコウモリの背中に乗せて、魔法使いのところまで連れて行ってあげる?

⑤なあ、コウモリと魔法使いも仲間?だって普通、魔法使いって、コウモリのそばにいるやろ?

④でも待って! 病気のカエルに『しゃっきりだけ』を分けてあげることにするなら、もう仲間やん



保育者

そのアイデア面白い!

『しゃっきりだけ』じゃなくて、『しゃっくりだけ』ってのも、あったりしてー



それ、面白〜い!

保育を振り返って 1年生につながるもの：想像力、創造性、言葉の伝え合い、信頼感、達成感

ストーリーを考えながら同時に、みんなでイメージした場面や情景を、身体で表現することも繰り返し楽しんだ。劇遊びの台詞は、好きな遊びの中で、気の合う友達と、魔法使いやカエル役になりきって遊びながら、湧き出てくるイメージを逃さず、劇遊びの中に取り入れていくことも心がけた。この時期、話し合いにより、誰かのつぶやきが、自他の新たなイメージやアイデアを生みだすきっかけとなり、広がり深まっていく。そこには、これまで積み上げてきた、互いを認め合える保育者、友達との信頼関係が土台となっている。そして、みんなで納得いくまで話し合い、共有していくことで、個人やクラスの確かな学びとなっている。